

【収入保険】私の選択・加入者の声



「中小企業も備えは必要」

【鳥取県鳥取市 中村 利雄さん（72）】

経営規模＝水稲「きぬむすめ」70アール、白ネギ・加工用スイカなど30アール

既存の共済制度以上の補償割合や補償内容というのが収入保険加入の決め手です。また、農産物すべてが補償の対象になることや、経営体個々の実績に応じた補償というものも、私のように複数品目を栽培して、規模があまり大きくない農業経営者にとっては魅力的な保険だと感じます。

不安定な天候による災害リスクは年々高まっていて、私も数年前、ブロッコリーを栽培していたときに大雨の被害を受け、経営に影響が出ました。今年もまた、気温が高い日が続いたこともあり、作物の品質に影響が出ています。やはり、今まで通りのやり方では対応できないほど環境が変化しているのだなと実感しています。

農業は収量や品質が平年並みであっても、収入が減少するのはあり得ることです。個人の中小規模な経営であっても備えは必要だと思います。

（農業共済新聞 [中国版] 2019年10月2週号より抜すい）